

第41回 九州中学校バスケットボール競技大会 沖縄大会

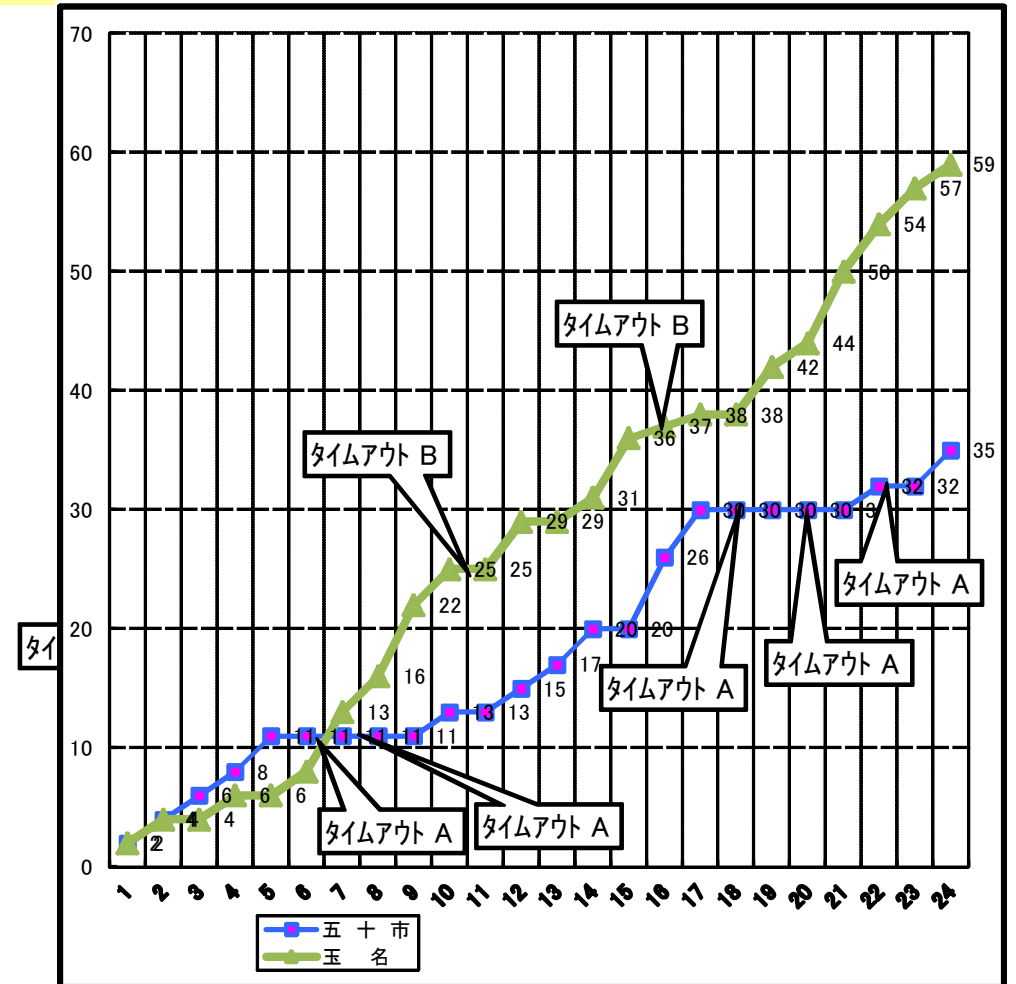
ボックス・スコア

女子 準決勝

試合日：平成23年8月6日(土)  
 開始時刻：20:00  
 会場：沖縄市営体育館  
 コート：Aコート  
 試合順：第7試合

Team A		Team B
五十市	35	玉名
(宮崎1)	$\left. \begin{matrix} 11 & - & 8 \\ 4 & - & 21 \\ 15 & - & 9 \\ 5 & - & 21 \\ & - & \end{matrix} \right\} 59$	(熊本1)

【得点推移表】



Team A : 五十市(宮崎1)

No.	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	備考	
				M	A	M	A	M	A		学年	身長
4	⊗	岡元 麻緑恵	6			2	5	2	2	2	3	158
5	×	荒武 玲美	0						2	1	3	161
6	⊗	夏井 麻朱	0				8			2	2	158
7	⊗	矢野 絵里子	11	3	5	1	3			1	3	161
8	×	二又 ひなの	0							2	2	150
9	×	松田 礼奈	2		1	1	1			1	3	162
10		和田 麻里奈	-								3	156
11	×	岩切 満梨乃	0								1	156
12	×	古屋舗 沙也華	0		1						3	158
13	×	長山 祥子	0								1	158
14		森元 春名	-								2	160
15	×	大石 莉	0				1			1	2	155
16		松永 あおい	-								2	153
17	⊗	外山 芹香	2				2	2	2	1	2	165
18	⊗	六カ所 希望	14		2	6	13	2	2	1	2	174
Team/Coach: 横山 祥子			-	-	-	-	-	-	-	-		
合計			35	3	9	10	33	6	8	12		
RATE				33.3%		30.3%		75.0%				

Team B : 玉名(熊本1)

No.	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	備考	
				M	A	M	A	M	A		学年	身長
4	⊗	森川 美波	22	3	6	5	8	3	4	2	3	156
5	×	太田 結日	0				1				3	165
6	⊗	山口 萌夏水	9	1	3	3	6			1	3	152
7	⊗	上田 祐季	6	1	3	1	5	1	2		3	167
8	⊗	川本 雅	16			7	13	2	4	2	3	170
9	×	上原 千晶	0				1				3	158
10	⊗	浦嶋 映里	2		2	1	3		2	3	3	163
11	×	松本 真心	4			2	2			1	3	163
12		吉川 杏奈	-								3	165
13		坂本 祐実	-								2	148
14		内田 侖奈	-								2	160
15		寺岡 恭子	-								2	154
16	×	小山 里紗子	0								2	156
17	×	濱崎 美帆	0								2	158
18	×	山下 真歩	0								1	150
Team/Coach: 杉本 三郎			-	-	-	-	-	-	-	-		
合計			59	5	14	19	39	6	12	9		
RATE				35.7%		48.7%		50.0%				

【戦評】

第1P、玉名#8川本、五十市#18六カ所のティップオフで開始。出だし玉名はハーフコートマンツーマン、それに対して五十市は3-2ゾーンディフェンスで対応。五十市#18を中心にインサイドを徹底的に攻め得点を重ねる。一方玉名は、#8、#10浦嶋のシュートで応戦するも11対8五十市リードで第1Pを終えた。

第2P、玉名スローインでスタート。玉名は相手チームのミスもあり連続得点で逆転に成功。たまたま五十市はタイムアウトを要求。しかし、3試合目の疲れからか五十市は、その後もミスを連発、それにつけこみ玉名は#4森川、#6山口の連続3Pで突き放しにかかる。その後も#6、#8の怒涛の攻めで玉名が15対29と突き放し前半終了。

第3Pに入ると、五十市はオールコートマンツーマンに切り替える。すると流れが一変、第2Pまで押さえ込まれていた、オフェンスにリズムがよみがえり、#7矢野、#8二又、#17外山の連続得点へとつながった。玉名はここでたまたまタイムアウトをとり、平常心を取り戻しにかかるが一度狂った流れは元には戻せず、30対38と五十市に4ゴール差まで詰め寄せられた。

第4Pに入り、五十市スローインで試合開始。玉名はオールコートマンツーマンにディフェンスを切り替えプレッシャーをかける。ここで五十市はあせりからオフェンスでミスを連発。負傷者も出るなどしてじわりじわり玉名に突き放されていく。五十市も最後まで粘りを見せたが、攻守ともに主導権を握った玉名に35対59で力尽きた。

主審	前泊明和	副審	国吉由幸	記録	高良謙二
----	------	----	------	----	------